

令和5年度 第1回文京区地域保健推進協議会・第2回文京区地域福祉推進協議会保健部会 要点記録

日時 令和5年7月27日(木) 午後1時30分から

場所 文京シビックセンター24階第1委員会室

<会議次第>

1 開会

2 議題

(1) 保健医療計画の実績報告について 【資料第1号】

(2) 保健医療計画の改定について

①保健医療計画の主要項目及びその方向性 【資料第2号】

②保健医療計画の体系図 【資料第3号】

③保健医療計画の計画事業 【資料第4号】

(3) 報告事項

①令和4年度ぶんきょうハッピーベイビープロジェクトの実施結果及び今年度の
取組みについて 【資料第5号】

②自殺対策計画の改定について 【資料第6号】

③新型コロナウイルス感染症の現状等について 【資料第7号】

④新型コロナウイルスワクチンの接種状況等について 【資料第8号】

⑤令和5年度インフルエンザ予防接種の全額助成について 【資料第9号】

(4) その他

3 閉会

<文京区地域福祉推進協議会保健部会員(名簿順)>

出席者

細部 高英 委員、土居 浩 委員、三羽 敏夫 委員、新井 悟 委員、橋本 初江 委員、
柴藤 徳洋 委員、戸井 雅和 委員、安田 剛一 委員、太田 良明 委員、渡辺 泰男 委員、
諸留 和夫 委員、細谷 はるか 委員、黒住 麻理子 委員、白土 正介 委員、出口 雅一 委員、
川田 智之 委員、神馬 征峰 会長、植村 元喜 委員、小山 忍 委員、西村 久子 委員、
松川 えりか 委員、山田 晴康 委員 (20名)

欠席者

内海 裕美 委員、松尾 裕子 委員、谷川 武 委員 (3名)

<事務局>

出席者

矢内 保健衛生部長、熱田 生活衛生課長、田口 健康推進課長、小島 予防対策課長、
内宮 新型コロナウイルス感染症担当課長、大塚 保健サービスセンター所長

欠席者

0名

<傍聴者>

2名

I 開会

開会・委員の出欠状況・会長指名・会長の職務代理指名・配布資料確認・会長へ進行依頼。（議事省略）

II 議題（1） 保健医療計画の実績報告について

熱田課長：（1）保健医療計画の実績報告について【資料第1号】の説明（議事省略）

神馬会長：コロナの5類感染症移行後、みんなで集まる機会が増えてきていると思いますが、それにより感染者が増えているという状況はまだないということでしょうか。沖縄や北海道では高校生の中で非常に感染が広がって、高校生から家族に広がるというパターンが、二、三週間前、よくあるという話を聞いたのですが、今年のご感覚として、人が集まってそういう事態が起こっていないかどうか。もし何かありましたらお願いします。

小島課長：5月8日以降、5類感染症になりまして、感染者の数というのは全数報告ではなく、定点医療機関当たりの報告者数となりました。東京都も、定点医療機関での報告数が、じわじわと伸びてきておりまして、7月20日時点の公表で、7月10日から7月16日までの1週間の定点当たりの医療機関での報告者数というのは8.25人と聞いております。全国的に見ると、沖縄が非常に増えており、東京でもじわじわと増えてきておりまして、5類移行以後、減ってはいないというところでございます。小学校や中学校では、学級閉鎖もあったようです。

諸留委員：コロナも5類になり、重症化する人が少なくなっていると思うのですが、実際はどうでしょうか。

戸井委員：病床入院になる方は、背景に何らかの合併症をお持ちの方で、多くの方は自宅で回復しておられるという状況だと思います。資料第1号の実績報告にあった様々なデータの中で、特別区間や地域間の比較データはあるのでしょうか。

田口課長：他の自治体とのデータの比較というのは私ども持ち合わせておりませんので、文京区が実施した健（検）診の結果のみとなっております。

細部委員：コロナの感染症に関しては、最近また増えてきておりまして、毎日1人から5人ぐらい陽性患者を診ております。重症化が少なくなった理由の一つとして、12歳以上でラゲブリオですとかゾコーバなどのコロナの治療薬が、今までの規制なく使えるようになったことが挙げられます。9月の末までは公費でお金がかかりませんと言うと多くの方が希望されます。ロングコビット、コロナの重症化も少し抑えられている要因の一つではないかと考えています。また、デルタ波のときが、やはり一番重症化がひどかった

のですが、この間、駒込病院の今村先生のお話でも、感染症は広まっていけばいくほど、だんだん弱毒化していくというような形を取っています。今後、どういう変異をするか分かりませんが、だんだんと弱毒化していくのではないかなと、期待と予想をしております。

小山委員：私もほかの区との比較が知りたいと思うのですが、せめて、全てではなくてもいいので、健（検）診を受けている割合が全体の数字に対して文京区はどうかぐらいでもいいので、そういうものがあれば、何か傾向が見えてくるのかなと思います。

田口課長：例えばがん検診とかですと、時期が大分後ろにはなりますが、受診率は、東京都の調査結果により知ることができます。そのため、そういったものも当然、今後、制度や事業を実施していく上で、文京区にも何か取り入れられるところがないか、いい事例がないかとか検討していきたいと思います。

熱田課長：最終的に計画書として取りまとめるときには、そういったデータ等も、入れられるものは入れていきたいと考えていますので、また検討させていただきます。

西村委員：肺がん検診を実施しているのに、今回の実績報告に載っていないのはなぜでしょうか。また、がん検診の結果、要精密検査になった方で受診されない方はどの程度いらっしゃるのでしょうか。

田口課長：まず、一つ目の肺がんについては、この実績報告が平成30年度から令和5年度を計画期間としている現行の保健医療計画についての実績報告となっております。肺がん検診については、平成31年度から始まった事業ですので、現行の計画にはない事業ですので実績報告にも載っておりません。これからできる計画の中には、肺がん検診の受診率につきましても報告内容に加えていく予定でございます。精密検査の受診勧奨についてですが、どれだけの方が精密検査を受診したかについては毎年発行しております「ぶんきょうの保健衛生」の中で数値として載せておりますので、今後も同様に作成していく予定でございます。

太田委員：各種がん検診の話で、受診率を年齢別で出していただけると、もっと興味を持ってもらえるデータになると思います。

田口課長：年齢別の受診率ですが、先ほどご紹介しました「ぶんきょうの保健衛生」の中に年齢別、5歳刻みで載せておりますので、今後も同様に作成していく予定でございます。

太田委員：区報に載せる予定はありますか。

田口課長：区報は紙面の都合上、掲載は難しいと考えております。

大塚所長：「ぶんきょうの保健衛生」は区のホームページで公開しています。

黒住委員：生活習慣病予防教室というのをされているんですが、参加人数というのは、どの程度おられるのでしょうか。

大塚所長：コロナの関係で、昨年と一昨年は個別に実施しておりました。昨年の夏以降、小集団で実施しておりまして、現状では、1開催大体5名から6名のところから再開しております。今年度に入りましては、集団での実施が可能になっていますので、今年度実績からは有効な数字になってくると思います。

黒住委員：回数ではなくて、人数で表していただけるといいです。

植村委員：歯周疾患検診のことでお尋ねしたいと思います。目標が12%となっております、この歯周病は、8割以上の方が罹患されているとも聞いておりますが、目標設定の受診率12%の根拠は何か教えていただきたいです。さらに、令和4年度の取組の中では20歳・25歳を新たに対象年齢とされています。これを加味した上で目標値12%というふうにされているのでしょうか。

田口課長：この12%の目標値なんですが、これはベースラインとなった平成28年度の実績値が現行計画の69ページに載ってまして、10.6%でした。それよりちょっと高めということで、12%となっています。検診に20歳・25歳を対象年齢として加えるというのは、歯周病になるのも、急になるというわけではなくて、若い頃からの積み重ねからというところで、今年度から加えました。

土居委員：まずその12%について、通常、定期的に歯科医を受診している人や加療中の方が非常に多いというふうに捉えたほうがよろしいのではないのでしょうか。新規で歯周疾患検診を受診する人が12%ということです。しかも去年の話では、同様の事業をやっている地域に比べますと、1%程度多いと記憶しております。ですから、成果は出ていると思います。あと、20歳・25歳を増やしたことですが、もともと高校生までしか歯科健診は基本的にないので、18歳が終わって、20歳、25歳で歯科健診の機会が増えたことは、とても喜ばしいことで、将来的に10年後、20年後の罹患率に差が出ると期待しています。

植村委員：20歳・25歳を新たに対象年齢とした場合、目標となっている受診率は上がるのでしょうか。

神馬会長：ここは実施してみないと分からないところがあると思いますので、実態を見ながら、次年度の目標を検討していくのではないかと思います。

II 議題（2） 保健医療計画の改定について

熱田課長：保健医療計画の主要項目及びその方向性 【資料第2号】の説明（議事省略）
保健医療計画の体系図 【資料第3号】の説明（議事省略）
保健医療計画の計画事業 【資料第4号】の説明（議事省略）

神馬会長：この計画はいつ頃できるのですか。

熱田課長：今年度中の計画策定という予定になっております。

新井委員：このような文書を見ている中で、薬局の利用についての記載が非常に少ないです。例えば健康診断やワクチンについて、薬局でお薬手帳を活用して情報発信もできるので、この計画の中に、薬局を活用することも加えていただければと思います。

II 議題（3） 報告事項

田口課長：令和4年度ぶんきょうハッピーベイビープロジェクトの実施結果
及び今年度の取組みについて【資料第5号】の説明（議事省略）

小島課長：自殺対策計画の改定について【資料第6号】の説明（議事省略）
新型コロナウイルス感染症の現状等について【資料第7号】（議事省略）

内宮課長：新型コロナウイルスワクチンの接種状況等について【資料第8号】（議事省略）

小島課長：令和5年度インフルエンザ予防接種の全額助成について【資料第9号】（議事省略）

III 閉会

熱田課長：熱心にご議論いただきまして、ありがとうございます。次回の会議は令和5年度第3回地域福祉推進協議会保健部会になりまして、9月26日の開催を予定しております。以上をもちまして閉会といたします。本日はどうもありがとうございました。